

### 第3次小城市総合計画策定に係る総合計画審議会での主な意見

No.	審議会	項目	意見	対応（案）
1	6回	防災・減災体制の充実	外国人や女性、子育て中の方などへの配慮について啓発に盛り込んだ方がいいのではないか。すべての人に対応できるという表現を盛り込んではどうか。	要配慮者、女性、子供、外国人などに配慮した防災対策について取組方針に追記する。
2	6回	防災・減災体制の充実	現状と課題の部分に災害の頻発化、甚大化について記載がない。南海トラフなどの大規模地震などの災害に対するリスクを前提にした対策が求められる。	現状と課題に追記する。
3	6回	防災・減災体制の充実	市民の方が防災情報を分かりやすく得られるように、箇条書きでいいのでDXを活用した防災情報の発信など記載してはどうか。	DXを活用した防災情報の発信について取組方針に追記する。
4	8回	くらしの安全対策の推進	犯罪を抑止するための防犯カメラの設置について、具体的に取組方針に加えてほしい。	取組方針中、「犯罪が起こりにくい環境の整備に努めます」の中に防犯カメラも含まれる。
5	8回	快適で住みやすい住生活環境	第2次計画までは施策に自然環境の保全があった。小市のキーワードは天山から有明海へとつながる水だと思う。自然環境の保全を施策に追加してほしい。	天山や有明海をはじめとする自然環境と豊かな水資源は、小市の住みやすさを構成する重要な要素であり、「快適で住みやすい住生活環境」の施策名を「快適で住みやすい環境づくり」とし、「快適で住みやすい環境づくり」の施策の中に本事業「自然環境の保全」を加える。
6	6回	道路・交通網・交通環境の充実	自動運転、ライドシェア、EVバスなどモビリティの変化や社会の変化など上位計画に方針がないと下位計画に書けない。	社会の変化に対応した新たな公共交通について取組方針に追記する。
7	6回	道路・交通網・交通環境の充実	地域公共交通は利用促進だけでいいのか。免許返納者など交通弱者が利用できるようにデマンドタクシーで補うとか、住民で助け合いする方法など手段も選択できるようにしていく。自家用車以外で移動できる仕組みを検討する。	高齢者福祉や地域福祉など他の施策と連携を取りながら、住民の移動手段の確保に努めていく。
8	6回	道路・交通網・交通環境の充実	地域公共交通にJRは含まれないのであるのか。関係者と連携したなど分かりやすい表記を検討する。	取組方針の文中に関係者を加える。
9	6回	道路・交通網・交通環境の充実	駅舎や駐輪場も含めて、市民がJRを利用したくなる環境づくりは市ができる。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。地域公共交通の利用促進の中で検討していく。
10	6回	農林水産業の振興	取組方針の中に、県やJAと連携しとあるが、漁協も含まれないか。また、所得の向上に触れてはどうか。	取組方針に漁協を追記する。また、所得の向上を加える。
11	6回	農林水産業の振興	担い手育成のイメージがつかないので小城ならではの平坦地の集落営農などを明確に位置付けてはどうか。	取組方針中、「担い手等への農地の集積・集約化を推進します。」の前に「認定農業者や集落営農組織等の」を追記する。
12	6回	農林水産業の振興	国家戦略であるみどりの食料戦略について、消費の視点が入っていない。	消費の視点について、地場産品のPRを取り組み方針に追記する。

### 第3次小城市総合計画策定に係る総合計画審議会での主な意見

No.	審議会	項目	意見	対応（案）
13	6回	商工業の振興	関係団体と連携した商工振興対策の推進の関係団体を産学官金と連携したに修正してはどうか。	取組方針の「関係団体と連携した」を「産学官金と連携した」に修正する。
14	6回	商工業の振興	商業の振興が見えづらい。商店街の活用を考える必要がないか。拠点でスーパーはあるが、買い物へ行けない方に対して産業の視点からどのような戦略があるか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。例えば、移動式の販売所の誘致等、企業との連携が考えられる。
15	6回	商工業の振興	景観を維持しつつ、産業誘致に取り組んでほしい。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
16	6回	商工業の振興	小城らしさでいくと食品加工業が集積している。クラスターを形成する戦略はどうか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
17	6回	観光・交流の推進	宿泊する場がない。起業支援の中に空き店舗を活用した起業もあっていいのではないか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
18	6回	観光・交流の推進	現存の観光施設を有効に活用運営する仕組みがないのではないか。	施策を進めるうえでのご意見として承る。観光施設を含めた観光資源の磨き上げにより、観光消費の拡大につなげていく。
19	6回	観光・交流の推進	スマートIC開通による経済波及効果は出せないのか。DXはデータ収集でもある。	経済波及効果の算出はできていない。データの収集分析のためのDXの活用については、RESAS等も含めて活用を進めていきたい。
20	6回	観光・交流の推進	点ではなく、線・面で移動できる観光と消費につなげることが大事でないか。	観光消費の拡大について取組方針に追記する。
21	6回	歴史・文化の継承と振興	文化財は保護がメインになるので活用の議論が少ない。佐賀県が活用をしているので文化財の活用を検討してほしい。スマートで文化財もみることができる時代に新しい時代に文化財の見せ方、活用の仕方も検討してほしい。	デジタルを活用した情報発信について取組方針に追記する。
22	6回	歴史・文化の継承と振興	文化財は観光資源として、観光とつなげること（=活用）が必要。	文化財の観光資源としての活用については、観光・交流の推進の中の観光資源の1つとして位置付ける。
23	6回	歴史・文化の継承と振興	社会教育との連携も必要。記載の検討も必要。	まなびについて取組方針に追記する。
24	7回	生涯を通じた健康づくり	県のSSP構想との連携やスポーツ団体との連携について、次期スポーツ推進計画にも盛り込んでいくが上位計画に記載が必要ないか。	基本事業「スポーツの推進」とその取組方針を追加する。「スポーツの推進」は、新たに「文化・スポーツ」の施策を作り、位置付ける。

## 第3次小城市総合計画策定に係る総合計画審議会での主な意見

No.	審議会	項目	意見	対応（案）
25	7回	地域福祉の充実	窓口があっても相談に行けない方もいるので、アウトリーチという言葉を入れてほしい。	アウトリーチでの支援について取組方針に追記する。
26	7回	地域福祉の充実	相談方法の入り口としてWebなども検討できるか。DXをどのように活用していくかも地域福祉の充実の中で検討する。	施策を進めるうえでのご意見として承る。デジタルの活用については、DXの推進の取組方針に記載する。
27	7回	高齢者福祉・介護の充実	取組方針に地域包括支援センターの名称も入れた方がいいのではないか。前段に現状と課題があるのでそこに記載する。	現状と課題に記載する。
28	7回	高齢者福祉・介護の充実	認知症については、地域医療との連携が重要である。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。地域医療との連携について課題に追記する。
29	7回	高齢者福祉・介護の充実	独居老人が増えていく。単独世帯について課題に追加する。	課題に追記する。「高齢者の単身世帯は1,636世帯（R2国勢調査）で増加傾向にあり、令和22年には2,212世帯となることが見込まれる。」（高齢者福祉計画より）
30	7回	高齢者福祉・介護の充実	高齢者の生きがいづくりの推進において、元気な高齢者の活用を強調してほしい。	「高齢者が自分らしく生きがいを持って暮らせるよう、趣味やボランティア、就労など多様な活動の機会を提供し、」の部分で読み取る。
31	7回	多様性を認め合う地域づくり	じんけんの啓発について、社会情勢を踏まえて市民意識に食い込むような啓発も必要ではないか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
32	7回	多様性を認め合う地域づくり	どのように外国人との共生を図るのかを取組方針に記載する。	外国人住民の生活支援について取組方針に追記する。
33	7回	生涯を通じた健康づくり	日常的に歩くことができるウォーキングコースの設定など民間団体とも協力しながら進めてほしい。	「関係団体と連携し」を取組方針に追記する。
34	7回	生涯を通じた学びの場の充実	若い人にもつかってもらえるような、市民誰でも広く利用できるような情報発信や取り組みが必要。	「多様な世代や多様な方が幅広く利用できるよう」を取組方針に追記する。
35	7回	生涯を通じた学びの場の充実	図書館機能の充実について、新しい時代に対応したサービスの充実、遊びにいける場など柔軟な発想で考えてほしい。	「新たな時代に対応した」を取組方針に追記する。
36	7回	こども・子育て支援の充実	生活困窮世帯への施策はどこに含まれるか。	地域福祉の充実の中に含まれる。
37	7回	こども・子育て支援の充実	こども食堂を運営する団体等を支援していくことは、「協働によるまちづくりの推進」の施策になるか。	こども食堂の運営はNPOなどが主体となっていることが多く、NPOを含めた市民活動団体の活動支援は協働によるまちづくりの推進にも関連する。
38	7回	学校教育の充実	小学校トイレの洋式化は財政上の問題もあると思うが、子どもたちが安心して学べる環境づくりのためにもう少し大胆にできないか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。

## 第3次小城市総合計画策定に係る総合計画審議会での主な意見

No.	審議会	項目	意見	対応（案）
39	8回	計画的な土地利用	拠点地区の方向性を総合計画に書けないのであれば、国土利用計画に記載する必要がある。	拠点地区の方向性については都市計画マスタープランに記載している。施策の取組方針も修正する。
40	8回	協働によるまちづくり	自発的な市民活動を行う団体への支援として、財政支援も含めた事業の検討も必要。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
41	8回	情報発信の強化	デジタルについていけない人への配慮について記載する必要がある。	情報格差、情報弱者への配慮について、課題に記載する。取組方針では、「ターゲット層に合わせた効果的な情報発信」に含む。
42	8回	情報発信の強化	発信する内容には多言語化も必要	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
43	8回	財政マネジメントの強化	交流人口は観光を示すので、関係人口にするべきではないか。	取組方針の交流人口を関係人口に修正する。
44	8回	財政マネジメントの強化	公共施設の利用促進について、市民が使いやすい、市民に多く利用してもらう視点で考えるべき。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
45	8回	行政経営マネジメントの強化	「官民連携、市民協働を促進し」とあるが、官民共創、市民共創としてはどうか。	取組方針の「官民連携、市民協働」を「官民共創、市民共創」に修正する。
46	7回	こども・子育て支援の充実 (若者支援)	地域にはスキルを持った人材がいる。地域と交流できる場を創出できないか。また、外に出ても帰ってきてみたいと思える地域づくり、キャリアの活用など。	「人材確保・人材育成の推進」の施策で整理する。
47	7回	こども・子育て支援の充実 (若者支援)	高校大学との連携に加えて、企業や商工団体との連携ができるか。インターンシップの活用など。	「人材確保・人材育成の推進」の施策で整理する。
48	7回	こども・子育て支援の充実 (若者支援)	若い人達の意見を定期的に恒常的に聞く場を作つてはどうか。市民会議は単発なので、市民会議のようなもので計画の進捗管理をしてはどうか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
49	7回	こども・子育て支援の充実 (若者支援)	市民会議などのファシリテーションも住民主体でしてはどうか。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。
50	7回	こども・子育て支援の充実 (若者支援)	奨学金の返還支援について、大企業がしているが、自治体でしているところもある。UIJターン、若者定着のための施策として考えてほしい。	今後の施策を進めるうえでのご意見として承る。